

ニュースレター23号【防災学術連携体】2019/09/27

台風第15号が、令和元年9月8日夜遅くから9日昼前にかけて伊豆諸島、関東地方南部を中心に猛烈な風、猛烈な雨をもたらしました。千葉市で最大瞬間風速57.5メートルを観測するなど、多くの地点で観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測し、広域かつ長期にわたって起きた停電、木造住宅の損傷、屋根の破壊など、大きな災害となっています。

被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を願っております。

防災学術連携体では、高まる災害外力から国土と生命を守るために、学会をこえた議論を行い、学会間の連携を深め、防災減災・災害復興に関わる諸課題の解決に積極的に取り組んでいます。

防災学術連携体 代表幹事 米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員）

代表幹事 古谷誠章（早稲田大学教授、日本建築学会前会長）

第4回防災推進国民大会において、第8回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムを開催します



テーマ：「あなたが知りたい防災科学の最前線—激化する気象災害に備える—」

日時：2019年10月19日（土）16:30~18:00

会場：名古屋市ささしまライブ24エリア・メインホールB

（〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-12 グローバルゲート 名古屋

屋コンベンションセンターエリア 3F） [会場詳細](#)

主催：日本学術会議防災減災学術連携委員会、防災学術連携体

参加費：無料 / 申込み：事前申し込みは[こちらから](#) 当日の直接参加も可能です。

趣旨：地域の防災力の強化に科学を役立てるため、市民の皆様が知りたい気象災害に関する防災科学の最前線を、各分野の専門家からわかりやすく伝えます。各分野の専門家と市民との相互交流を図り、地域や個人が準備すべき防災の備えに関する情報を参加者に提供し、防災力の強化をめざします。

日本学術会議会長談話「地球温暖化への取組に関する緊急メッセージ」が9月19日に発表されました。

・日本学術会議：<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-d4.pdf>

防災学術連携体幹事会から [2018年7月22日に発出した「西日本豪雨・市民への緊急メッセージ」](#)が引用されています。

気象庁より「気象過去データ」の利用者が募集されています。

気象庁では、ビジネスで気象データを活用していただくための課題などを分析するため、気象データを活用したビジネスを検討している方を対象に、実際に過去の気象データをご利用頂ける方を募集しています。気象データの利用にご関心のある方は、ぜひ本取り組みにご参加いただけますと幸いです。

詳細：https://www.data.jma.go.jp/developer/past_data/index.html

第25回日本災害医学会総会・学術集会「これでいいのか、災害医療！」が開催されます。

<https://site2.convention.co.jp/25jadm/>

主催：日本災害医学会 / 日時：令和2年2月20日（木）～22日（土） / 場所：神戸国際会議場・神戸商工会議所・アリストンホテル神戸

*21日午後に、防災学術連携体との合同セッション「これでいいのか、災害情報の活用！」が企画されています。

第9回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」来年3月に開催。

主催：日本学術会議防災減災学術連携委員会、防災学術連携体（57学会） / 日時：令和2年3月18日（水曜日） / 場所：日本学術会議講堂

防災学術連携体幹事・事務局長

田村和夫（日本学術会議連携会員）

小野寺篤（日本建築学会 事務局長代理） 防災学術連携体事務局

website@janet-dr.com

担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい